

●次回の定例会の日程(案)―第3回定例会日程―●

9月3日	本 会 議 開会、開議、会議録署名議員の指名、会期の決定、諸報告、議案の上程及び提案理由の説明など
11日	本 会 議 総括質疑(議案に対する質疑)、議案の委員会付託
12日	総務文教常任委員会
13日	建設水道常任委員会
14日	民経消防常任委員会
18日	本会議(一般質問)
19日	本会議(一般質問)
20日	本会議(一般質問)
21日	本 会 議 委員会報告、質疑、討論、採決、閉会

※この定例会日程は予定ですので、変更する場合があります。

議会を傍聴しましょう

●**本会議の傍聴**
本会議及び委員会は、どなたでも傍聴することができます。定例会は年4回開かれ、次回は9月3日に開会予定となっております。傍聴は、市議会の活動にふれることのできる身近な方法ですので、ぜひ傍聴してください。

●**委員会の傍聴**
委員会の傍聴できる人数は、10人までです。なお、傍聴の手続きは、本会議と同様です。

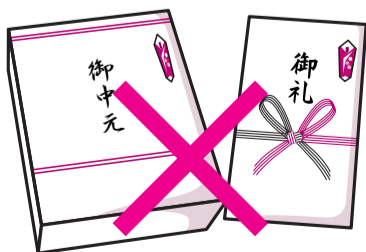
●**傍聴する際の注意事項**
傍聴する際は、拍手をしたり騒ぎ立ててはいけません。また、傍聴する方は、傍聴席において写真、ビデオ等の撮影又は録音等を行うことができません。

【平成19年第2回定例会の傍聴者数67名】

●**議員からの寄附は、罰則をもって禁止されています!!!**
議員(候補者等を含む)が、入学式・卒業式の行事やお祭り・運動会・親睦旅行会・会合等の行事に対し、お祝い・寄附・差し入れ等を行うことは、公職選挙法により、議員資格剥奪の罰則をもって禁止されています。

また、受け取った人も罰せられます。個人に対しても、お祝い金(入学・卒業等)・贈り物(お中元・お歳暮等)をすることも、同様に禁じられています。

なお、例外的に罰せられない行為として、議員本人が持参する結婚式のお祝い・香典があります。市民の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。



ごみの減量化の徹底と教育予算の充実について

Q ごみ処理に多くのお金がかかります。徹底したごみの減量化を図り、その浮いた経費を21世紀を担う子ども達の教育予算に充てられたらと思うのですが、お考えをお聞かせいただけます。

A ごみの減量化につきましては、市民の皆様のご理解とご協力が不可欠でございます。本市におきましても、ごみの減量化は市政の中でも大きな課題と認識しております。今後、ごみ処理経費の節約を図るため、調査研究してまいります。



なお、教育予算の確保につきましては、今後も引き続き、適切な予算措置を講じてまいります。

大山 安司

八潮市地域防災計画について

Q 平成7年策定の防災計画が改定されたが、細部にわたり検討が必要①避難所となっている小中学校は耐震基準を満たしていないが代替案は②被災者がその場所にたどり着けない場合は、又、高齢者、障害者の把握は③必要な資機材の現状は④他自治体との相互応援は近隣だけでは同時被災の恐れがあるので、遠方とも行うべきでは⑤飲料水の確保につき地下水の現況は、又、民間井戸の把握は⑥ジャスコ・フジパンとの協定が具体的ではないが、いかがか。

A ①現段階では可否を確認後、利用。②自治会等と連携し、避難情報や災害情報の提供を行う。民生・児童委員の協力を得る。③必要に応じ、瞬時に対応できるよう準備しております。④遠距離自治体との災害協定は重要と認識しており、随時可能性を探っております。⑤被災人口5千人を想定し、保存水を備蓄しており、井戸施設が8本あり迅速な対応を行う。民間は7年度で105だが減少⑥ご指摘のとおりですが、今後、事業者等と円滑な効果が期待できるよう努力してまいります。

大久保 龍雄

木曾根地内線路脇側道整備について

Q 木曾根地内線路脇側道は鉄道工事の仮設道路として使用され、工事完了後は市道として整備される予定となっておりますが、2年近く経過した現在でも、未だ手付かずのままとなっております。今後の整備予定についてお伺いいたします。

A 当路線は、鉄道建設工事の施工に伴い、作業用道路として使う必要があったことから、(旧)日本鉄道建設公団(現)鉄道建設・運輸施設整備支援機構)と八潮市との間で協定書を締結し、用地を取得したところでございます。この(旧)日本

鉄道建設公団が先行取得した用地につきましては、八潮市土地開発公社により平成16年度から用地買収を実施し、平成18年度までに取得を完了したところでございます。

今後は八潮市土地開発公社から八潮市への道路用地の買戻し完了した後は、整備に着手することになりますので、計画的に用地取得に努め、可能な限り早い時期に整備できるよう努めてまいります。

織田 一